

2007 年度

科目名 演習 I	対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 新井 由美
授業テーマ 泉鏡花の小説に関する分析と読解		
授業の概要と目標 泉鏡花は、明治・大正・昭和の三代にわたって活躍し、文壇の大勢に与することなく、ひたすら浪漫性・怪異性・唯美性を追い求めた作家です。その卓抜した表現力に支えられた鏡花の作品世界は、はじめての読者には難解と感じられる点もあるかもしれませんが、一字一句を丁寧に読み、作中の様々な問題点を見つけ出し、読解力を深めるような読み方を心がけていきます。		
評価方法 出席状況、受講態度、発表内容で総合的に評価します。		
テキスト 講義の最初に指示します。	著者	出版社
参考書 講義の中で適宜指示します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 鏡花作品に細かい注釈を付しながら、受講者全員で一つの作品を輪読していきます。本文をいくつか区切り、それぞれ担当者を決め、発表形式で進めます。(扱う作品は変更することもあります。) 全員でいくつかの作品を読んだ後、受講者各自がそれぞれ一つの作品を選び、研究発表を行ないます(選ぶ作品は自由、適宜紹介もします)。 (前期) 1、授業計画とオリエンテーション 2、日本近代文学と泉鏡花(その1) 3、〃〃(その2) 4、文献検索の方法・レジュメの作り方(その1) 5、〃〃(その2) 6、映画「外科室」を観る 7～15、「外科室」を読む。受講生による発表と質疑応答。 (後期) 1～10 「龍潭譚」「国貞ゑがく」を読む。受講者による発表と質疑応答。 11～15 各自で選んだ作品についての研究発表。		